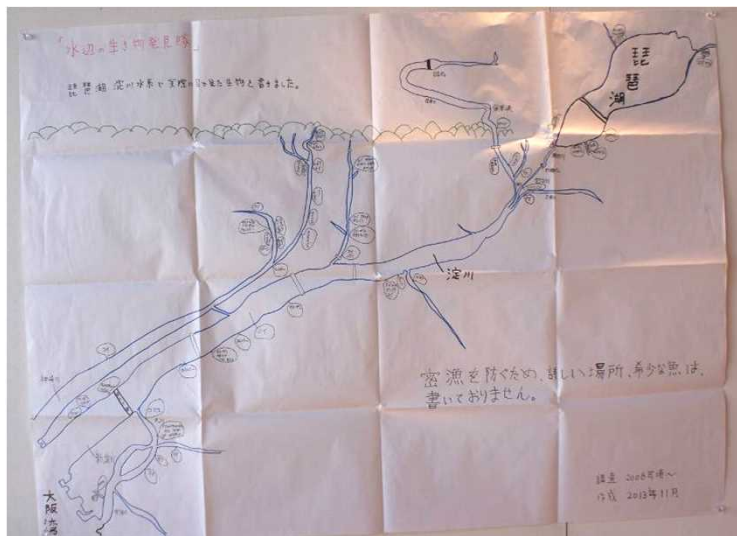


第5部 体験交流プログラム 「水辺」に関する展示作品や各種体験プログラム

●展示会場の様子



●展示



水辺の生き物発見隊（大阪府）

お魚さん帰ってきて！
～野洲川自然再生事業の取り組み～

昔と今の野洲川について
野洲川は、昔からたびたび起こっていた洪水による害をなくすために新しい川を作りました。

お魚が住めるようになるために
お魚さんが住めるようになるには、お魚の住みかとなるヨシを再生する取り組みをはじめました。

調査した中学生からの主な意見

- 水に入って調査するのが初めて
- 生物図鑑を作ってはどうか
- 鳥をつかまえる調査をしてみたい
- 野鳥観察をしたことがある
- 魚を持って帰って育てたい
- とても貴重な経験が出来てありがたそう
- 野洲川の自然をつくるような活動なので、これからも続けていきたい
- ヤナギの剪き方をしてみたい

何の形に見えますか？
上の図を見て、何の形に見えるかを裏に回答をお願いします。（動物、楽器、乗物など形が似ていると思うものを答えて下さい。）

近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所（国土交通省）

(前のページから)



神戸市立高丸小学校5年生（兵庫県）



神戸市立垂水小学校（兵庫県）



神戸市立菅の台小学校3年生（兵庫県）

(前のページから)

「日・タイ 子どもたちの絵の交流展」に寄せて
 参加型環境教育研究会 (PeeSG)

私達「参加型環境教育研究会」は、2001年～2003年度に国連地球環境センター (GEC) がタイ国で実施した水環境の改善と保全のためのプロジェクト「環境保全に向けた住民参加型実践活動モデル事業」に、専門家として参加したメンバーが中心に結成したグループです。

プロジェクト終了後も、タイと日本との参加型環境教育を促した交流、両国の市民の環境教育活動の交流を目的とした活動を行っております。GEC のプロジェクトの中でタイの子供が描いた川の絵を日本で紹介し好評だった経験を生かし、子供が描いた川の姿を互いに交流することも会の目標の一つとしております。

この度、両国の学校や幼稚園、ガールスカウト、大学の先生方、行政機関、NPO など多くの方々のご協力を頂き、子どもたちが描いた絵の交流展を、巡回展示方式で開催することになりました。多くの人たちに子どもたちの絵を見て頂き、水辺の様子などからお互いの国の違いや共通点を知り、川の生き物や水辺に対する想いを感じて頂ければと思います。

そして、この巡回展が両国の美しい水辺環境を守り育てていく一つのきっかけとなれば幸いです。



タイの子どもたちの作品 (海外)



インドネシア、パランカラヤの子どもたちの環境学習 (海外)

●体験・交流プログラム



ぷかぷか動く魚 ～浮沈子～ をつくろう
(株) 共立理化学研究所



琵琶湖の湖魚を使った伝統食の試食提供
滋賀の食事文化研究会



よし笛コンサートを聴いてみよう！
minamo

(前のページから)



琵琶湖の魚を見てみよう
滋賀県立琵琶湖博物館



移動博物館がやってきた
滋賀県立琵琶湖博物館



キャッフィーとうおーたん

(表面)

第7回 in滋賀 近畿「子どもの水辺」交流会

～びっくり わくわく こうりゅうかい～
びわ湖で思いっきり楽しもう!

近畿各地からたくさん子どもたちが滋賀県大津市に集まって、身近な水辺で観察したことや、体験したこと、取り組んだ活動などを発表・発信します! 子どもたちの発表や話し合いを聞いていただき、「水辺」のことを考えてみませんか。

みなさんの参加をお待ちしております。

○日時: **平成25年11月23日(土)**

10時00分～16時00分
(受付:9時20分開始)

○会場: **大津港～琵琶湖(大型客船ピアンカ)**
学習船うみのこ

滋賀県大津市浜大津5丁目1-1 [077-521-6016]

(京阪電鉄「浜大津駅」より徒歩すぐ)

(京阪電鉄へは山科、膳所、大津京でお乗換え下さい)

○プログラム

■第1部 開会式(10:00～)

- ・開会宣言、乗船・進行説明

■第2部 現地体験交流会(10:40～)(12:55～)

- ・学習船「うみのこ」に乗って、びわ湖を感じよう!

■第3部 グループ別交流会(10:30～)(12:40～)

- ・ポスターなどを使って、日頃の活動を発表しよう!
- ・グループみんなの発表を聞いた感想を話し合おう!

■第4部 全体交流会(14:25～)

- ・ピアンカに乗って「水辺」についてみんなで考えよう!

■第5部 体験交流プログラム(15:30～)

- ・体験・交流コーナー(15:30～16:30)
- ・「水辺」に関する作品展示(10:30～16:30)



【参加費無料】
当日受付可
(ただし、ピアンカのみ乗船可)
事前登録者は、学習船「うみのこ」への乗船も可能です。



主催/ 近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

(近畿の水辺活動団体等、近畿の学生、近畿地方整備局、近畿各府県等、河川財団、近畿建設協会)

後援/ 近畿農政局、近畿地方環境事務所、近畿各府県教育委員会、近畿各政令市、近畿各政令市教育委員会
琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会

滋賀県マスコット キャップィー

<参加者事前登録のお願い>

当日参加でも見学可能ですが、乗船はピアンカのみとさせていただきます。予め事前に登録された場合には、「うみのこ」への乗船もしていただけます。「うみのこ」への乗船を希望される場合は、予め事前登録を行ってください。先着順で受け付けます。

- ◆住所、氏名、年齢、学校名、団体名等を、電話かFAXかメールにて裏面問合せ先へ申し込みください。
- ◆事前登録の締切は、裏面問合せ先に平成25年11月14日(休)必着とします。

第7回 近畿「子どもの水辺」交流会 参加団体

滋賀県

- NPO法人 蒲生野考現倶楽部
- 高島市立 マキノ東小学校
- ホテルの学校
- OTANAKAMIこども環境クラブ
- 水のかけ橋エコクラブ
- 山内エコクラブ
- エコアイディアキッズびわ湖 (アイキッズ)
- かもんずエコクラブ

兵庫県

- アシレンジャー
- 自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ
- 三田市立 武庫小学校
- 玉ーアクアリウム (玉津第一小学校)
- 三浦 悠里
- れいんぼう☆キッズ

京都府

- NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム
- 西京極児童館自然探検隊2004
- 木津川管内河川レンジャー活動に参加している子どもたち+ NPO法人やましろ里山の会木津川子ども部会
- 京都市立 静原小学校
- 宇治市立 広野中学校 科学部

作品展示

- 水辺の生き物発見隊 (大阪府)
- 神戸市立 菅の台小学校3年生 (兵庫県)
- 神戸市立 高丸小学校5年生 (兵庫県)
- 神戸市立 垂水小学校 (兵庫県)
- 国土交通省 近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所
- タイの子どものたちの作品 (海外)

※敬称略

大阪府

- 石川こども自然隊
- かわっばクラブ
- 川とあそぼう♪大和川クラブ
- エコロジー美園小
- 寝屋川市立 成美小学校 飼育委員会

奈良県

- 橿原市立 畝傍中学校 科学部



滋賀県マスコット キャップフィー



滋賀県マスコット うおーたん

【お問い合わせ先】

※詳しくは、お近くの下記問い合わせ先へ連絡願います。

- 国土交通省 近畿地方整備局 河川部 地域河川課
TEL 06-6942-4407 FAX 06-6942-1867
E-mail chkas01@kk.mlit.go.jp
- 福井県 土木部 河川課
TEL 0776-20-0480 FAX 0776-20-0696
E-mail kasennka@pref.fukui.lg.jp
- 滋賀県 土木交通部 流域政策局 河川・港湾室
TEL 077-528-4154 FAX 077-528-4904
E-mail ha04@pref.shiga.lg.jp
- 京都府 建設交通部 河川課
TEL 075-414-5287 FAX 075-432-6312
E-mail kasen@pref.kyoto.lg.jp
- 大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課
TEL 06-6944-9293 FAX 06-6949-3129
E-mail kasen-g21@sbox.pref.osaka.lg.jp
- 兵庫県 県土整備部 土木局 総合治水課
TEL 078-362-9261 FAX 078-362-3942
E-mail chisui@pref.hyogo.lg.jp
- 奈良県 県土マネジメント部 河川課
TEL 0742-27-7504 FAX 0742-22-1399
E-mail river-29@m4.kcn.ne.jp
- 和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課
TEL 073-441-3134 FAX 073-433-2147
E-mail e0804001@pref.wakayama.lg.jp
- 三重県 県土整備部 河川・砂防課 河川計画班
TEL 059-224-2682 FAX 059-224-2684
E-mail kawasabo@pref.mie.jp
- 公益財団法人 河川財団 近畿事務所
TEL 06-6942-2310 FAX 06-6942-2118
E-mail info-o@osaka.kasen.or.jp
- 一般社団法人 近畿建設協会
TEL 06-6941-0174 FAX 06-6941-1742
E-mail koeki@kyokai-kinki.or.jp
- 大阪市 建設局 下水道河川部 河川課
TEL 06-6615-6839 FAX 06-6615-6583
E-mail la0028@city.osaka.lg.jp

参加記念品・グッズ



ロゴ入り記念ボールペン（拡大写真）



琵琶湖きれい

微生物観察など 体験学習

環境学習に取り組み近畿の小学生たちが集う「近畿『子どもの水辺』交流会」が23日、大津市の琵琶湖で行われた。水辺の調査にあたるNPOや科学部などに所属する児童・生徒が集まり、県の学習船「うみのこ」と大型客船「ピアンカ」上で、琵琶湖の微生物の観察や、日頃の活動の発表を行った。近畿地方整備局や近畿各府県でつくる実行委員会が毎年主催。会場は各府県の回り持ちで、県内での開催は2回目となった。

今回は25団体、約350人の児童・生徒が参加。船上で琵琶湖が

大津で「子どもの水辺」交流会

らみる比良山系などの風景を楽しんだほか、プラスチックケースに入れた北湖と南湖の水の透明度を見比べたり、水中のプランクトンを顕微鏡で観察したりした。また、ホタルを増やすための川の清掃や、学校内のビオトープづくり、田んぼや池での生物調査など、団体ごとに日頃の活動の成果を発表。児童らは真剣に聞き入り、環境についての理解を深めていた。

参加した京都府宇治市立広野中学校科学部の藤谷愛さん(13)は「琵琶湖には初めて来たけど、すごくきれいだったと感動した。体験交流会を見学した嘉田由紀子知事は「いろんな人との出会いを楽しんで、琵琶湖に思いをはせるきっかけにしてほしい」と話していた。



学習船「うみのこ」上で、湖中のプランクトンを観察する児童ら

船上で水辺の環境学ぶ

大津港 小中生集い交流会



水辺の環境について発表し合う子どもたち。大津市浜大津の港で。

水辺の環境について「なごにま」と発表。学芸近畿の小中学生が、感想を話し合った。第七回近畿子ども水辺交流会が二十三日、大津市浜大津の港で行われた。大津港であった。県内は、京都府、大阪府と五府県から二十五団体の小中学生約二百人が参加。港に停泊した大型客船「ピアンカ」に乗り込み、五団体ずつのグループに分かれ、日ごろの取り組みの成果をポスター

調べたり、景色を展望したりするなど、琵琶湖について学んだ。全体交流会では、それぞれの活動を通して、琵琶湖について意見交換した。(安永陽祐)

平成25年11月24日(日)
中日新聞(朝刊)

平成25年11月24日(日)
産経新聞(朝刊)

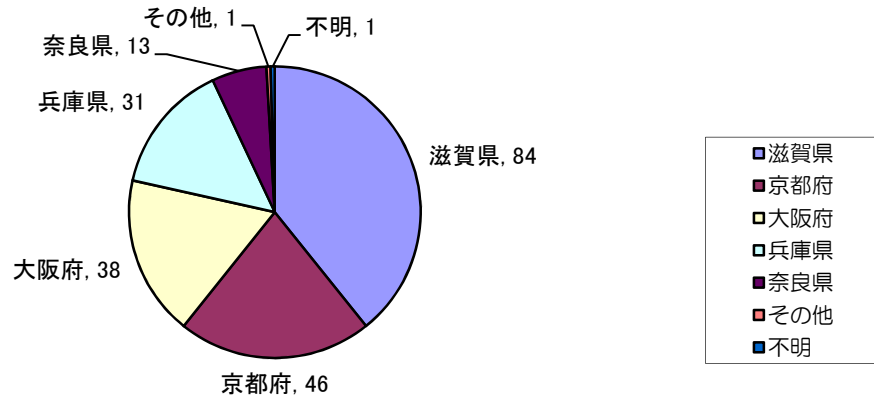
びわこ放送テレビの取材
(当日の夕方・夜のニュースで放送されました。)



交流会 アンケート結果

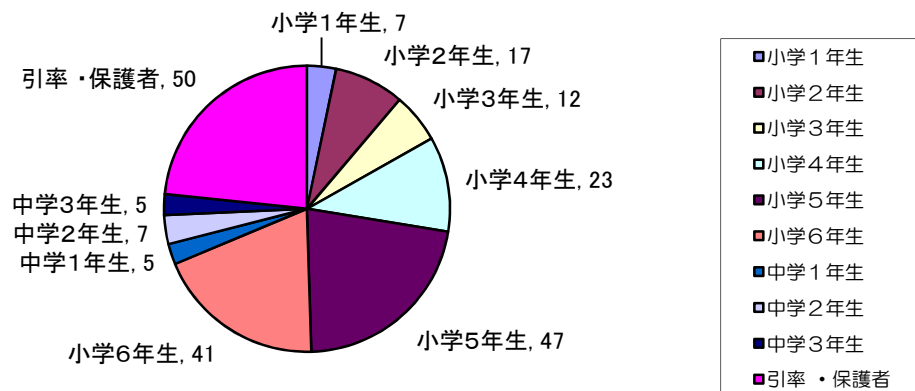
1. あなたのお住まいの府県はどちらですか？

データ数 214



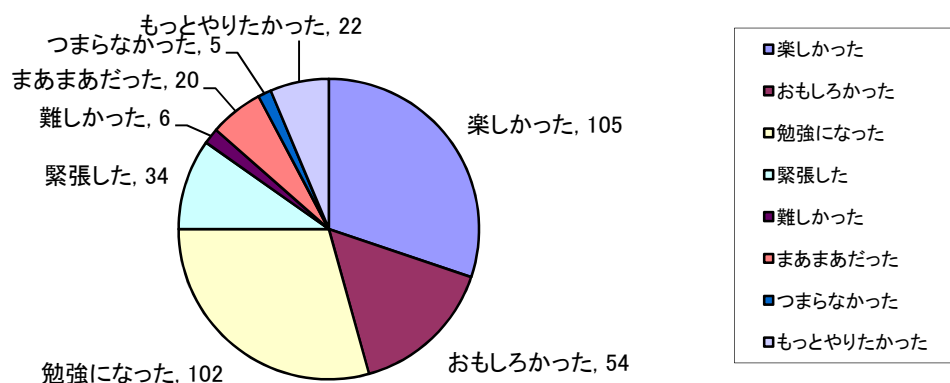
2. あなたの学年を教えてください。

データ数 214

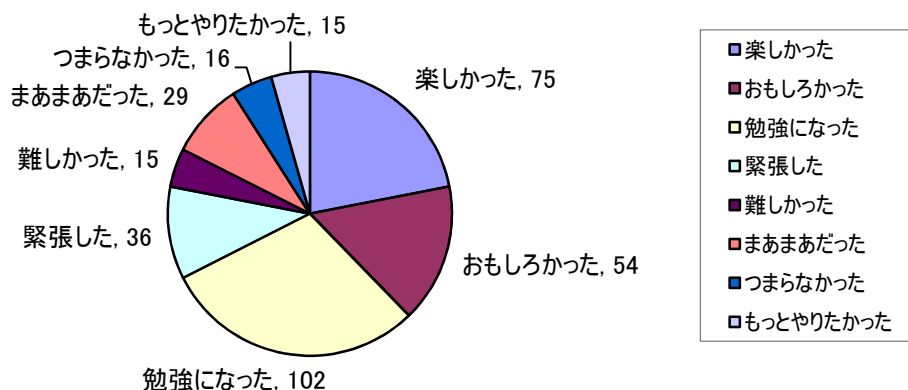


3. 第2部現地体験交流会の感想を聞かせてください。（複数回答）

データ数 348



4. 第3部グループ別交流会、第4部全体交流会の感想を聞かせてください。
(複数回答) データ数 342



5. 交流会で「楽しかった・よかった」のは何でしたか？

(子供)

- ・おもしろかった。【2人】
- ・船に乗って楽しかった！【8人】
- ・うみのこに乗れてよかった。【3人】
- ・船に乗って発表したこと。
- ・船に乗って、いろいろな体験ができてよかった。
- ・2回目のうみのこなので、どんなのかなと思いましたが、展望台からの景色がキレイでした。
- ・うみのこにもう一度乗れたし、ビアンカにも乗れたからよかった。みんなの発表も聞いてよかった。
- ・ビアンカに初めて乗って楽しかった。みんなでいろんな話し合いもできたし、いろいろな体験もできて良かった。
- ・みんなの感想を聞け、うみのこやビアンカの船に乗れた。滋賀はとても琵琶湖を大切にしていることが分かりました。
- ・琵琶湖のことがよくわかった。【3人】
- ・琵琶湖に初めて来れたこと。
- ・琵琶湖の環境問題などをよく知れた。
- ・琵琶湖のことや守るためのことがよくわかった。
- ・琵琶湖の事をたくさん知れて、プランクトンの観察も、とてもおもしろかった。
- ・他班の人でもみんな同じ意見を持っていた。魚のことや琵琶湖のことが知れてよかった。
- ・体験学習が楽しかった。【2人】
- ・プランクトンを見れてよかった。【7人】
- ・プランクトンや色々なことを調べたこと。【2人】
- ・みんなの発表を聞いて、勉強になった。プランクトンが楽しかった。
- ・船に乗って発表できたことと、色々なプランクトンを観察できたこと。
- ・もう一度うみのこに乗れて、ピクンショウモが見れてよかった。【2人】
- ・初めて顕微鏡でプランクトンを見た。色々なプランクトンがいておもしろかった。
- ・うみのこでのプランクトンとか、水のきれいさを調べたことが楽しかった。【2人】
- ・プランクトンを見られて楽しかった。北湖・南湖で比較できることは魅力的だった。
- ・うみのこ体験
- ・全部。
- ・船から虹を見たこと。
- ・船で探検したこと。
- ・ビアンカに乗れて楽しかったです。
- ・船に乗って外に出たとき、気持ちよかったです。【2人】
- ・船に乗り、琵琶湖の事を勉強したりしたのがよかった。
- ・琵琶湖の北湖と南湖の違いが分かってよかった。
- ・全体交流会で琵琶湖について色々知れてよかった。
- ・みんなに琵琶湖の大切さを知ってもらえてよかった。
- ・琵琶湖が大きかった。プランクトンが見れたこと。船に乗れたこと。
- ・水の透明度検査が楽しかった。【3人】
- ・うみのこでの活動(プランクトン)
- ・プランクトンとかの事が知れてよかった。【3人】

- ・プランクトを顕微鏡で見たのが楽しかったし、最後の交流会が勉強になってよかった。
- ・遊覧船に乗って楽しかった。みんなの発表が面白かった。顕微鏡で見られて面白かった。
- ・今回2回目のうみのこでも、ピクニックショウモが見れてよかったです。みんなの発表を聞いてよく分かりました。
- ・プランクトン観察で、フクロワムシを見ることができてよかったです。湖の透明度の測定の仕方が、とても面白かったです。【2人】

- ・発表・みんなで考える。 ・発表を聞く。 ・うまく発表できたのがよかった。【3人】
- ・発表が楽しかった。 ・発表がんばれた。 ・自分の発表をみんなに聞いてもらえてよかった。
- ・自分の意見が言えた。【2人】 ・劇とかで分かりやすく説明してくれたことです。
- ・船や劇がとても楽しかった。 ・サザエさんの劇をしたことが楽しかった。【2人】
- ・発表は緊張したけど楽しかった。 ・船に乗って、発表のお手伝いできてよかった。
- ・発表の時、色々な意見等を聞いた。 ・声がみんな小さかったけど、自分なりにがんばった。
- ・みんなと調べた事を言い合ったこと。 ・僕たちの発表のとき、あまりミスがなかったのがよかったです。
- ・自分達の発表が成功したのでよかったです。 ・水辺の発表を、みんなの前で大きな声で発表できて良かった。
- ・全体で交流する時に、他のグループの意見を聞くのが楽しかった。
- ・自分の発表だけでなく、他の県のグループのを聞いて、もっと川や湖を大事にしたいとなった。
- ・僕たちのグループの発表が上手にできて嬉しかった。でも他の団体とはあまり話せなかったし、もっと友達になりたかった。

- ・たくさん人の話を聞いた。 ・他の人の良い意見が聞いた。
- ・色々な人の感想を聞いたこと。 ・中学校の人の発表が聞いてよかった。
- ・川のことをみんなで話し合えてよかった。 ・いろいろな事を聞いたり、見たりして、とても勉強になった。
- ・人の言うことや、おもしろい話があったから。 ・いろんな人の出来事を聞いた。うれしかった。知ることができた。
- ・話し合いや、意見交換をしたのが楽しかった。生き物の観察をしたのがおもしろかった。

- ・大事にすることを考えること。 ・たくさんを知れた。【2人】
- ・他の人が研究していること。 ・勉強ばっかだと思わなかった。
- ・勉強になったからよかった。【3人】 ・色々なことを勉強して楽しかった。
- ・班によって答えが違って勉強になった。 ・みんなに静原川のことを分かってくれてよかった。
- ・色々な事が学習になったし、おもしろかった。 ・色々なことが分かったこと。他の県のことが分かった。
- ・いろんな発表を聞いて、勉強になってよかった。 ・自分達より優れている発表がたくさんあり、勉強になった。
- ・いろんな魚とか川などの事がよく分かりました。 ・いろんな人達と交流をして、学んだことがあるのでよかった。
- ・水のきれいさが分かったし、色々勉強になってよかった。
- ・いろいろな生き物や水のことを教えてくれたから、勉強になった。
- ・いろいろなグループの人達の発表がとてもよかったし、勉強になりました。
- ・他の人が調べたことや自分が知らないこと、興味がないことまで知れてよかった。

- ・友達ができて良かった。 ・県外の人もいたから、少し緊張した。
- ・他の人と仲良くなれたこと。 ・他のグループの活動を見て楽しかった。
- ・みんなの活動が聞いてよかった。 ・水辺での目標が達成できてよかったです。
- ・ピアンカに乗って、近畿の人と交流できた。 ・エコクラブのみんなと一緒に船に乗って活動できた。

- ・いろいろなチームが、どんなことをしているかが良くわかりました。
- ・大阪のグループの人と友達になれて良かった。滋賀県知事に会えてうれしかったです。
- ・みんなと仲良くなれたから。こういう事を思っているという事が分かったから。琵琶湖を愛する気持ちやキレイにしたいという気持ち。
- ・琵琶湖を周る船に乗って、そこで琵琶湖にいるプランクトンとかを見れて良かったです。みんなの話を聞いたり、1人で参加している人もいたので、すごく良かったです。1人で参加している人は、乾燥した物を持って来ていて、1人でがんばっているのがすごかったです。
- ・全体交流会で自分の意見を言えてよかったです。次は京都で、第2の故郷なので、できたら参加してみたいです。若い人達が支えてくれたので、良かったです。木津川や滋賀県にしかない生き物を見て、まだ知らなかったので学べてよかったです。滋賀や琵琶湖にしかない生き物を大切にしてください。

- ・試食がおいしかった!!【3人】
- ・試食会が楽しかった。【3人】
- ・試食した事。弁当を食べたこと。
- ・いろんな事をしたので、楽しかったです。ピアンカに乗れたり、試食ができたのでよかったです。
- ・ブルーギルのから揚げが美味しかった。色々なことが勉強になった。例えば、顕微鏡でプランクトンを見たのは、おもしろかった。
- ・知事に会えてうれしかった。
- ・新聞で見ていた知事さんに出会え、話しができたことがよかったです。一緒に写真を撮り、自慢ができた。

(大人)

- ・ミジンコの観察。
- ・環境学習船「うみのこ」の見学。
- ・実際に琵琶湖に出られたこと。
- ・うみのこに乗れ、色々なことを教わりました。
- ・みんなの発表内容が詳しくてよかった。
- ・子供達の発表、色々な考えが聞けてよかった。
- ・子供達が仲間と交流出来た事が一番。
- ・子供達の発表(各々調べたことの)。
- ・子供達の発表に感動しました。
- ・いろいろな発表が見れてよかった。
- ・他府県の活動が知れたこと。
- ・他の地域の取組みについて詳しく知ることができて良かった。
- ・子供達の熱心な様子が、見ていて微笑ましかったです。
- ・発表、顕微鏡での観察。知事に会えた。湖の伝統食。
- ・船の上で交流できた事が良かった。とても良い経験になった。
- ・子供達が協力して発表内容を考え、それを上手に発表していたこと。
- ・琵琶湖でも、北部と違って南部まで来ると、えらく汚れているなど思った。
- ・改めて、子供達の視点や考え方の素晴らしさに触れることができ、よかった。
- ・いつも一緒に活動している団体とも会えて、お互いの活動報告が聞けたこと。
- ・交流することによって、また新しい発見！調べたい！次のネタ！ワクワクします。
- ・全体交流のすばらしい進行と参加。子供達の力を信じた大人の実行力を見れた。
- ・大きな船に乗れた事。他の地域の子供達が、すばらしい勉強をしている事を知った事。
- ・他府県の取組みを聴けること。他のグループから取組みに対する声をいただける事。
- ・それぞれのグループが、色々な角度から地元の水辺を調査し、研究している様子が分かりよかったです。
- ・他のクラブの活動の内容・取り組み・意気込みが感じられ、勉強になり、今後の活動の参考にしたいです。
- ・子供達の意見はすごく率直でわかりやすい。色々難しい事まで意見が出てくるからすごい。改めて感じた。
- ・府県を越えて水辺にかかわる多くの子供達と仲良くなれたこと。尊敬する嘉田知事さんにお会いできたこと。お話を聞けたこと。
- ・発表の練習を前もってできなかったけど、ちゃんと発表できてよかったです。琵琶湖の客船に乗ることも、なかなかないので、良い体験ができました。

- ・他のグループの活動内容や発表の工夫について参考になった。琵琶湖景観を観察したり、プランクトンの観察など他では経験できない事が良かった。
- ・琵琶湖から陸の様子を知れたり、水の透明度を見る体験、プランクトンを顕微鏡で見たりなど、体験して知ることは、わかりやすく重要なことだと思います。
- ・子供達が本当に頑張っていること、それを頑張っている学生さん、さらにその場全体を支援する大人の皆さん、その全体の熱気が素晴らしいと思った。
- ・琵琶湖学習をしっかりとできてよかったです。午前中については、グループの規模がちょうどでしたが、マイクがなかったので、声が聞こえなかったのが残念でした。
- ・現地体験交流会は、色々な地域で、自分達が普段行ったことのない地域で、同じベクトルで活動しているグループの話が聞けることは、とても良い経験になった。
- ・近畿の水がめである琵琶湖で、水辺について学べたことはとてもよかったです。船上から見える景色もすばらしく、琵琶湖ならではの交流会だったと思う。ありがとうございました。
- ・環境の事をそれぞれの地域で考えている子供達が、それぞれのアイデアを持ち合わせて発表し合うことでより自分達の活動に誇りを持てた気がする。とてもいい機会になった。
- ・滋賀県では環境学習に力を入れているように思えたこと、それを行政が大っぴらに支援しているらしいこと。しかし、今回の交流会の最後の結論を行政の良い様に使われた気がして釈然としない。
- ・船の上でお互いの活動を発表し、感想を聞き合っ、知り合ったり刺激を受けることができよかったですと思います。また、近畿各地の幅広い世代の人が一堂に会することができる機会は大変貴重であると思います。
- ・琵琶湖で初めて船に乗り、とても気持ち良かった。交流会の前にゲームを取り入れていただき、子供達も和めたと思います。スケジュールの紙を先に頂いていたので、流れが分かりよかったです。
- ・準備運動として、まずコーディネーターのお兄さんが、じゃんけん列車や後出しジャンケンをしてくれたので、みんなシャッフルされて、うちとけられたので良かったです。もう少し仲良くなれていたら、発表に対する質問もいっぱい挙げてくれたかも。
- ・何よりも子供達が元気に楽しそうに環境について話し、そして発表をしている姿が良かった。また、他の府県の開催とは異なり、知事さんがこの交流会に出席して下さったのが嬉しかった。これで子供達も、自分達の活動の重要性が良く理解できたのではないかと思います。
- ・ビアンカ・うみのこでの交流会は、他府県の人たちにとっては興味深いものだったと思います。全体交流会では、ビアンカが会場でしたが、あまり時間がなく、いろいろなアトラクションが見られず残念でした。(ビアンカで湖を走りましたが、外が見られないのも残念！)知事さんのお話もすごく身近に感じられました。大学生の一生懸命さも伝わってきました。
- ・今年度はスタッフと学生さんのファシリテータが奏功し、参加者の積極性が喚起された。最後のまとめを板書(ホワイトボード)していましたが、あの文章をパソコンに打ち込んで、プリントアウトしたものを参加者に配布し、当日の成果として持ち帰ってもらうことは不可能でしょうか。木津川レンジャーとキッズは、嘉田知事と交歓したときに、記念写真に気軽に応じていただき、かつての大会ではみられない知事の人気を博す結果となりました。

6. 交流会に参加して、みんなに伝えたいメッセージを書いてください。

(子供)

- ・琵琶湖は生きています。【2人】
- ・琵琶湖をきれいにしていこう。【5人】
- ・皆で、きれいな琵琶湖を守ろう。
- ・みんな琵琶湖の命を守りましょう！
- ・琵琶湖の水は、いろんな所に繋がっていること。
- ・みんな琵琶湖を大切にしたいと思いました。【6人】
- ・蛇口から出る水のほとんどが、琵琶湖の水ということ。
- ・琵琶湖にしかない生き物を守る。
- ・琵琶湖はキレイだから、これからもゴミを拾っていきたくです。
- ・琵琶湖は大事。
- ・これからも、琵琶湖を美しくできるように、がんばっていきましょう。
- ・琵琶湖はきれいだった。
- ・琵琶湖の為にこうして毎年みんなで考える会を持つ事はよいと思う。
- ・琵琶湖は滋賀のほこり。
- ・もっと、琵琶湖をきれいにして、美しいところだと知ってもらいたいです。
- ・琵琶湖だけじゃなくて、それぞれのところの川や湖を守ってほしい。
- ・琵琶湖を汚させないために、ごみを捨てない。琵琶湖の水を大切にします。
- ・琵琶湖は私達にとって、とても大切な存在だから守っていきたく。【2人】
- ・自然教室は、とても疲れるけど、多くの事を学べます。みなさんも琵琶湖の事を学んでください。

- ・もっと琵琶湖の事を知ってもらえると、うれしいです。僕も、これからも琵琶湖の事を調べようと思います。
- ・滋賀県は、とってもいい県でした。古川と同じでなく、琵琶湖はゴミが1つもなかったことがすごかったです。
- ・これからも、水辺の活動をしていきたいです。みなさんも一緒に、琵琶湖や川をきれいにしていく活動をしていきましょう。
- ・これからも一緒に水辺の勉強をして、もっと琵琶湖のことを知ってください。僕らも琵琶湖のことを、もっといろいろ調べていきたい。

- ・自然は大事。ゴミを捨てるな。
- ・川はつながっている。
- ・水は大切。
- ・川を汚さないでほしいです。
- ・ポイ捨て禁止。【4人】
- ・ごみを川に流すな。
- ・ゴミを捨てない、ゴミを拾おう。【2人】
- ・水辺をきれいにしましょう！
- ・湖や川をきれいにする！
- ・水を大事にしたい。川を大事にしたい。
- ・これからも川をきれいにしていきたい。【3人】
- ・水辺を守る活動は、いつやるの？（今でしょ！）
- ・これからも水辺のことを調べましょう。
- ・川をもっと大事にしましょう！！川や湖は生きています！！
- ・川を掃除したりして川を大切にしていきたい。
- ・これから美しい水辺を大切にすることを覚えておこう。
- ・これからも美しい水辺を大切にすることを覚えておこう。
- ・みんなの水辺で、それぞれがんばっていきましょう。
- ・飛鳥川には、生き物はたくさんいます。でも、ごみも多いです。
- ・これからも、自分の家の近くの川などをキレイにしたらいと思う。
- ・川や湖を大事にしよー！今の子供の知能を川や湖の未来に役立てよう。
- ・川の水、湖の水をきれいにしたい。魚や生き物がもっと元気に増えてほしい。
- ・川にゴミを捨てないでください。皆さんの発表は、とても分かりやすく、おもしろかったです。
- ・琵琶湖だけじゃなく、身のまわりの公共の場所にポイ捨てしてはいけないなと思った。それを伝えたい。
- ・どの府県もゴミが多いんだなと思いました。だけど、がんばっているから、すごいなと思いました。お互いにゴミ拾いをがんばっていきましょう。

- ・自然を大切にしよう！【2人】
- ・自然を守る。【3人】
- ・大切な物を守ってほしい。
- ・自然を愛する力などがすごく大事だと思う。
- ・みんなで地球環境を守ろう。
- ・生き物の事とかがわかったからよかったです。
- ・生き物を大切に!!【3人】
- ・愛する気持ちを忘れません。(生き物・川・湖)
- ・これからも、魚、生物、植物と共に生きていこう!!!
- ・いろいろな川とか、魚のことがよく分かりました。自然を大切にします。
- ・自然を大切にすると、色々な意見交流をすることを大切にしてください。
- ・私達の学校は、自然に囲まれています。だから自然を大切にしていきます。
- ・他の地域の事が分かりよかった。また機会があれば参加して交流を深めよう。
- ・他のグループの人達も、これからもずっと、それぞれの活動を続けていってほしい。
- ・昔から守ってきた琵琶湖の自然や地域のよさを、僕たちも引き続き大切にしていこう。
- ・みなさんの学校も自然豊かな所でした。だから、みなさんも自然を大切にしてください。
- ・マキノ東は、自然に囲まれた小学校です。これからも、自然を大切にしていきたいです。
- ・生き物が暮らしやすい環境は、人にも暮らしやすいという事をみんなに伝えたいと思います。

- ・楽しかった。【2人】
- ・またよろしく。
- ・この交流会は楽しいこと。
- ・またやりたい。
- ・たくさんの人と仲良くなれるよ。
- ・これからも会えたら仲良くしてね。
- ・緊張したけど、がんばってできた。
- ・みんな協力できてよかったです！

- ・みんな、また一緒に発表しようね！
- ・また、スッパライシ発表にしましょう。
- ・みなさん、発表ありがとうございます。
- ・来年も今年のように、がんばってほしい。
- ・楽しかったのでみんなも来てほしい。
- ・みんなと一緒に歩いてうれしかった。
- ・これからも、この交流会を続けてほしい。
- ・もうちょっとおもしろくて！話を短くして！
- ・もっと色々なことを知りたいです。
- ・とつても楽しい&勉強になる。
- ・顕微鏡でみた虫をもっと見たい。
- ・自分達のビオトープに生かしたいと思った。
- ・みなさんの発表は、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・みなさんが1つのことを夢中で調べて発表したことがよかったと思います。
- ・みんなの色々調べてきたことや、川のこと、海のことについて知れたので、良かったです。
- ・色々なものがあって、おもしろかったです。行けたら行ってみたいです。
- ・交流会は、みんなとのふれあいがうまので、みなさんも参加してください。
- ・他のグループの意見を聞いて勉強になり、人と友達になれるかも！！(1人でも参加OK)
- ・みんなの学校が色々工夫して、衣装を着たり、絵を描いて工夫したりしていたので、すごいと思いました。
- ・みんなも行けば、たくさんのが学べます。自分の意見を言えてすっきりしますよー。そこにしかない生き物を学べるので、楽しおかしく笑えてよかったです。楽しかったです。
- ・また滋賀県に行きたい。
- ・京都の向日市に来て。
- ・交流会の人たちと、福田川を調べてみたい。
- ・エコで韓国に行きたい。【2人】
- ・木津川に来たら楽しいことがたくさんあります。ぜひ来て下さい！【2人】

(大人)

- ・ゴミは、持ち帰ろう。
- ・琵琶湖をきれいに！！
- ・水質をきれいにしたい。
- ・水辺は皆の物。皆で大事にしていきたい！！
- ・自然の大切さを伝えてほしい。
- ・水環境を見つめて行動に移し、仲間を増やそう。
- ・身近なところから、水環境を見つめましょう。
- ・水辺での活動を、これからもずっと続けていこう。
- ・大変お世話になり、ありがとうございました。
- ・自然環境を守る大切さを伝えられたらと思います。
- ・自分の意見を堂々と発表できるのを見て、感動した。
- ・琵琶湖を守ることも、もちろん大切だけど、まずは自分の回りの自然も大切にして下さい。
- ・他のグループの発表内容を良く理解し、疑問を持って、どんどん質問できる子になってほしい。
- ・子供が子供の視点で“感じ”“考え”“発表”する姿が、大変頼もしく感じます。これからも、その姿勢を忘れないで下さい。
- ・子供は1日の体験や他のグループの意見を聞いて、環境のことに関し、気づきや感じたものがあつたようです。よい1日になりました。ありがとうございました。
- ・全体交流会で、子供達が琵琶湖の生き物を大切にしよう！琵琶湖を愛しよう！と言った大人顔負けの提案をしており、大人も子供達に負けないよう自然、環境の恵みに感謝して、郷土を愛する気持ちを伝えたい。
- ・自分達の身の回りの環境のことをあれだけ真剣に、一生懸命考えている仲間がいるということがわかり、すごく励みになったことと思います。ふるさとの自然に向き合い、ずっと守り、美しいふるさとを受け継ぎ、次世代の仲間へ渡していくという意識をずっと持ち続けてほしいです。

- ・自校での取組みをがんばっていきたい。 ・これからも生き物たちを守る水辺の活動をがんばってください。
- ・他の団体に負けぬよう、これからも様々な体験に行きたいです。
- ・大きくなっても、今やっている活動に対する思いを持ち続けて欲しい。
- ・これからも子供と大人と一緒にあって、環境のことを考えていく活動は、広げていくべきだと思います。
- ・水辺活動ががんばりましょう。スタッフの方のがんばりに感謝です。滋賀の琵琶湖をみんなに発信できよかったです。
- ・これからも互いに高め合って、活動を持続し、発展させていきましょう！近畿の水辺を美しく、親しみを持てる環境にしていきたいと思います！
- ・もっと環境は良くできる。好きになる人が増えれば増えるほど。そういう方向性が必要。そう感じさせる活動が必要だと団体の人に伝えようと思う。
- ・水辺を守ろうとする多くの子供達や団体の方々と交流ができて、すごくうれしかったです。みんなで力を合わせて、もっと大きな力にしましょうね。

- ・小さなことから、はじめよう！周りのみんなに、伝えよう！
- ・参加し、経験した事を地元の人達に伝え、輪が広がっていくといいなあと思います。
- ・これからも、この交流会を続けていけるよう、皆でもっと盛り上げよう！次世代へ伝えよう！
- ・発表者たちだけでなく、地元の子供達もたくさん見学に来て下さい。絶対楽しいと思うから。
- ・ここに集まったメンバーだけの意識だけでなく、関心のない人にも伝えて、意識を持ってもらいたいです。
- ・水辺は、子供にとっても大人にとっても、とても楽しい所です。素晴らしい水辺をいつまでも守り伝えて行きましょう。
- ・交流会で見たこと、聞いたこと、気づいたことを、お父さん、お母さん、兄弟、友達など周囲の人々に伝えましょう。
- ・すばらしい交流会だと思いました。秋田県にも持ち帰って、八郎湖など水辺で、この体験を役立てたいと思いました。
- ・小さな頃から環境について考える場を設けていくことが大切だと思う。親もそういう視点を改めて持ち、考えることが大切である。
- ・谷先生の「すばらしい！」は大変好評で、次回は是非、時間を設けて参加者全員が「すばらしい！」の発声レッスンを谷先生から受けるコーナーを設けてほしい。
- ・多くの(ボランティア)スタッフのみなさんが、臨機応変に動いて大会を運営していることに感心しました。知事の話も大変分かりやすく、勉強になりました。お忙しい中ありがとうございました。
- ・結論がほぼお決まりの回答に落ち着くのは仕方がないことなのか？無論大切なことではあるが…手段と目的がごっちゃになっていないか。私見だが、子供が水辺で遊んでくれるだけでいいと思う。家族・地域は子供の遊び場を大事にするだろうし、行政がそれを支援する。そうやって育った子供がいずれ親になり…というループができれば、それで多くは解決できると考える。子供はただ思うままに遊ぶだけでよくて、そんな単純なことで動いてやれるだけのキャパシティが周囲には必要であるが。他にも楽しいことは多くあるし、少しでも危ないことには異常に敏感だし、世間は悪意だらけだし、大いに時代錯誤とは思いますが、そんな単純で根源的なことを大切にしてほしい。

6. また参加したいですか？ データ数 214

